

令和7年度 清水四中グループ小中一貫教育グランドデザイン

児童生徒の実態と学校教育目標に込めた思い

- 決められたことは真面目に行うが、自ら行動したり困難さに立ち向かったりするなど、主体的にたくましく取り組む姿が3校共通の課題。児童生徒が当事者意識をもち、授業・生徒指導・特別活動等、あらゆる教育活動を通して主体的に取り組む姿を引き出し、育てたい。
- 「学び」とは学習だけでなく、全ての活動を指す。「自ら学び」は個の強さ、たくましさであり、「共に創る」は、人とかがわって課題を解決したり新しいものを生み出したりする共生の姿である。

学校教育目標

自ら学び 共に創る子

視点1

重点目標



＜清水四中＞ 挑戦！ ～踏み出す・続ける・乗り越える～

＜清水不二見小＞郷土を愛し 進んで学ぶ子

＜清水駒越小＞ 自分から 動き出し チャレンジする子 ～やっちゃんえ!!!駒越小～

【目標達成のための軸となる取組】

自己肯定感の向上

視点2

幼児教育 6年間+9年間の連続性、系統性のある教育

共通する教育課程の編成

◎自己肯定感を高める生徒指導

A エージェンシーの発揮と伸長

B レジリエンスを高める

C 多様性を認め合う

◎よりよい生活づくり

- ・進んであいさつ(A)
- ・自ら考え取組む清掃(A)
黙って
時間いっぱい
- ・自他のよさを認め合う
宝物ファイル
いいことみつけ
いいところ見つけ (C)
- ・自分で目標を設定し、挑戦している過程を認め合う(B,C)
- ・性的マイノリティを含めた多様性の理解を深める保健学習(C)

◎つながりを大切にした特別活動

- ・目標実現に向かって、創意ある活動を創り出す交流する場を設定する(児童会・生徒会・委員会活動・行事等)(A)
- ・良好な人間関係づくり(学級活動、クラブ、部活等)(C)
- ・(集団で創り上げる)達成感を味わいながら自己有用感を高める(体育祭、音楽会等)(B)

◎「主体的に学び、伝え合い、深める授業」

- ・個別最適な学び・協働的な学びの推進により、子ども主体の学びを創る(A)

◎子ども主体の学習

- ・学び方を身につける(自己選択・自己決定、探究のプロセス)(B)
- ・主体的な家庭学習(A)
- ・主体的に地域の安全に役立つ「防災学習」(しずおか学)(A)
- ・「希望と勇気、努力・克己と強い意志」を重点とした道徳(B)

◎特別支援教育の充実

- ・授業・環境UD化(C)
- ・個に応じた合理的配慮(C)
- ・居場所作り(サポートルーム)(B,C)

← ICTの有効活用(A,C) →

児童・生徒交流、教職員の協働

視点3

◎児童・生徒の交流

- ・幼小・小小・小中の交流
総合的な学習交流等(リモート&対面)
- ・児童会・生徒会の交流
- ・中学校訪問(学習発表・部活動見学)
- ・小中合唱交流会
- ・小学校へのふれあい交流訪問



◎教職員の協働

- ・共通カリキュラム等の検討
- ・出前授業
- ・幼小・小小・小中の授業交流
- ・幼保園小中の職員交流
(グランドデザインの共有、講話等)
- ・校内研修会への相互参加
- ・合同授業研究会・合同研修会

地域との協働

視点4

◎小中一貫コミュニティ・スクールの推進 ～地域を愛し、地域の一員として活躍する子の育成～

- ・小中一貫学校運営協議会(学校経営の承認・評価等)および各校での学校支援部会(学習支援・ボランティア等)
- ・地域の人材やリソースを生かした教育活動の開発・推進
- ・地域防災訓練、地区運動会・地域の祭等への積極的な参加(ボランティア、吹奏楽部演奏等)
- ・三校合同美術展の開催
- ・アウトメディアチャレンジの実施
- ・小中一貫教育だよりの発行
- ・統括推進委員、コーディネータとの協働・連携
- ・小学校の奉仕作業への中学生の参加
- ・学習会の共同開催(地域・PTA)
- ・情報発信・ホームページの充実